

ゆうかり放送委員会提供

ゆうかりに乾杯

第15回放送の概要 (2010年3月27日放送)

パーソナリティ

さくら (安本久美子)
タロウ (佃 由晃)
なかちゃん (中嶋邦弘)
コアラさんの地域瓦版
アコちゃん (三木文子)



ミキサー

門ちゃん (門田成延)
一ノ瀬悟

相談役

わだかん (和田幹司)

会計

小山俊則

(CM)「7つ 8つ 9つ とう といち」でおなじみの「十一の奈良漬」は、「灘の生一本」の酒粕に漬け込み仕上げた自慢の味です。食事の締めくくりに、サンドウィッチや巻寿司などにも御愛用ください。「十一の奈良漬 黒田食品さま」の御協力を頂きました。

(CM)「え？有馬のごんそば知ってる？ほんと？ 神戸の奥座敷、有馬温泉にある本格手打ちそばの店、ごんそばで～す。 お勧めは信州産石うすびき粉、ダツタンソバで～す。有馬ごんそばよろしく。 FMわいわい聞いた、1000円以上200円割引しま～す。「有馬ごんそばさま」のご協力をいただきました。

1. オープニング

わだかんさんが実行委員長をしている「1.17 KOBE に灯りを in ながた 実行委員会」が3月25日井戸兵庫県知事から感謝状をいただきました。1月17日は兵庫安全の日で県知事がリーダーであり、今回の感謝状は阪神淡路大震災の復興支援活動や防災、減災活動に継続して取り組んできた努力が認められたものである。実行委員会の活動は1.17の震災を伝えていく追悼行事で300～400人のボランティアがやっているもので49陽会のメンバーもたくさん参加している。兵庫県で追悼行事をしている13団体が対象になっており我々の団体が代表して県知事から感謝状をいただき握手もしてもらい、晴れがましい思いをさせてもらった。表彰状を写真に撮りメールで流すと皆さんからうれしいとか、表彰状をコピーして大学に貼っておきたいとか長田中学ではHPで生徒に知らせたいなどよい反応があった。300～400人のボランティアにもこれから伝えていきたいし、来年1月17日には来てくださる方にも伝えていきたい。来年も頑張って取り組みたい。

2. ゲストコーナー：兵庫高校OB吹奏楽団副団長吉岡守さん、田辺喜美さん (69 陽会)

1. 高校現役時代の活動

担当した楽器は田辺さんはトランペット、吉岡さんはユーホニウムで金管楽器で一番大きなチューブを一回り小さくしたものでオーケストラにもない楽器である。放送スタッフが高校生の時の同期の部員は6名（うち女子は2名で1名は今でもOB吹奏楽団で活躍している）で、当時は演奏する場としては神戸高校との定期戦などの応援が主であったが、吉岡さんの場合同期は29名が部員で3分の2は女子であった。この頃は全国大会のコンクールで1980年に1回目、1993年には3回目の金賞を獲るなどレベルの高い吹奏楽部であった。当時の練習は全国大会に向けて5月中旬から練習を始め、関西大会予選がある8月26、27日頃の予選まで



毎日休みなしの状態であった。授業がある時は早朝、昼休みそして放課後練習していた。夜間の湊川高校の授業が始まる前に終わる必要があった。吹奏楽は音が大きいので家で練習することが出来なかったのが密度の高い練習をしていた。

印象に残った曲のひとつは全国大会金賞受賞曲の「ローマの祭り」で、顧問の吉永先生（17陽会）がオーケストラの曲を吹奏楽用に編曲したもので、吹奏楽コンクールでは初演の曲となった。顧問の先生としては1985年から松井先生に代わり、金賞を2回受賞している。また恋野先生など素晴らしい指導の先生がおられた。松井先生は明石北高校でもレベルをものすごく上げられたようで優勝請負人のような先生で、理詰めで生徒の熱意を引き出す先生であった。野球部をみても生徒の能力はそれほど差はないが指導者により大きく変わる。放送スタッフは現役の定期戦をみに行く機会があるが、昔に比べ厳しさがあまりない同好会的な雰囲気を感じている。多忙な毎日であったが楽しくやっていた。しかしあまり突き詰めすぎると楽しさも苦しみに変わる。学生時代は本番が一番楽しかった。うまくいったときの感動は次のモチベーションにつながる。5月の文化祭はメインの行事で、3年生はコンクールに残れる人を引き退るため盛り上がった。

ここで兵庫高校創立100周年記念のゆかり芸術祭において100名ほどのOBで演奏したパークの「宇宙の音楽」（吉永先生指揮）を聴く。

2. OB吹奏楽団の活動

OB吹奏楽団が出来たのは1976年（昭和51年）である。目的として当初は社会に貢献するか、現役の学生に貢献すると言っていたが今は年齢層も幅広く、若い人も多いので末永く吹き続けたい、楽しみたいといった同好会的な部分もある。OB吹奏楽団としての活動として年1回3月末か4月はじめの定期演奏会、及び夏の兵庫県吹奏楽連盟主催のコンクールに参加している。これは小学校から大学まで、そして職場、一般の部まであり一般の部に参加している。ずっと銀賞を受賞している。練習の苦勞としては皆それぞれの生活の流れがあるので日曜の午後練習といってもコンクールで50人、定期演奏会で70~80人が舞台上上がるが、練習に来るのは20人程度で、所帯のある人は出にくい事情があり、学生の場合はアルバイトや勉強などでなかなか集まるのが難しい。したがって最終の音あわせは前日もしくは当日になる。練習に顔を出さずに本番に臨める人はプロ、セミプロの人で、コンクールには出れないが定期演奏会には参加している。吉岡さん、田辺さんは子供に手がかからなくなってきているので練習に出やすく前年の末頃から参加し、7歳上くらいの世代までが練習皆勤賞である。コアになる人がいるので本番直前の全員集合でも問題がない。他の活動として創部50周年記念演奏会では定期演奏会では考えられないOBが多数参加した。兵庫高校100周年の記念演奏会では大先輩から出演しなさいとの話があり何をおいても参加した。OB吹奏楽部がそのような活動を通じ旧交を温めることが出来るのは、はたから見ると非常にうらやましく思う。しかし練習場所を借りたりするのに経費面で大変であるが同窓会から寄付をいただいたりして支援をしてもらっている。

今年の定期演奏会は4月3日（土）に大倉山の神戸文化ホールの大ホールで13時開場、13時30分開演で第22回の演奏会を開催する。入場料は500円である。

3. ゆうかり大好きコアさんの地域瓦版

4月1日から3日まで王子動物園の夜桜通り抜けがあります。入園は18時から20時半までです。480本のそめい吉野が咲き誇っています。無料ですが100円募金にご協力ください。

4. 来月のゲスト

学生時代から余暇に絵を描き続けてこられた宮崎泰樹さんにお話を伺います。

番組に対するご意見、ご感想はこちらまで：buyou49@nifmail.jp